

### 【来所型プログラム】

来所していただき、施設見学や動物の観察と併せていのちの大切さを学ぶプログラムです。

(所要時間：約2時間)

#### イントロダクション（約15分）

動物愛護センターの紹介

#### 館内見学（約40分）

実際の動物や、館内の見学・解説

#### 研修室でのプログラム（45～50分）

学年に応じたプログラムを実施。

- (1) 「動物にも気持ちがある？」
- (2) 「犬・猫の気持ちの表し方」
- (3) 「動物とのやくそく」
- (4) 「幸せな動物たちを増やすためにできることを考えよう」

(まとめ) いのちの大切さ、他者への思いやり等につなげる。

### 館内見学の様子



館内の展示を見ながら、動物に必要なお世話や適正飼養について学びます。

また、ガラス越しに動物を観察します。(動物の体調によっては観察できる動物が限定されます)

## 学年別プログラムの内容

### 「動物にも気持ちがある？」（1、2年生）

動物も、人間と同じようにいのちがあり、気持ちがあることを学び、他者を思いやる心を育むきっかけとするプログラム。

### 「犬・猫の気持ちの表し方」（3、4年生）

犬・猫のボディランゲージの基本知識を学ぶことを通して、動物も、人間と同じようにいのちがあり、気持ちがあることを学び、他者を思いやる心を育むきっかけとする。自分と異なる感情表現をする生き物が存在することを知り、多角的な視点を学ぶ。

### 「動物とのやくそく」（4、5年生）

動物にとってどんなことが幸せであるかを想像し、自分にできることを模索することで、想像力と共感力を鍛え、他者を思いやる心を育む。

### 「幸せな動物を増やすためにできることを考えよう」（6年生）

動物愛護センターにいる動物がどのような経緯でセンターに来たのかを知り、センターに来る動物を減らすための仕組みについてグループディスカッションを行うことで、社会の一員として自分達ができることを考える。

## 来所型いのち・MIRAI教室の効果

